

令和7年度
第49回 只見町民文芸コンクール

作品集



只見町教育委員会

はじめに

只見町文芸コンクール入賞者の皆様、このたびは誠におめでとうございます。

また、本コンクールへ多くの方々にご応募いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

本コンクールは、今年で第四九回を迎えます。この長い歴史の中で、町民の皆様が自らの感性や想いを表現する場として大切に受け継がれてきました。それは、町内の小中学校や只見高等学校をはじめ、文化団体、そして町民の皆様方の温かいご支援とご協力の賜物であり、改めて感謝の意を表します。

今年度も「作文」、「詩」、「短歌」、「俳句」の各部門で、総計二三四点もの作品をご応募いただきました。一つひとつ的作品に込められた思いを、審査員の皆様が丁寧に審査し、ここに発表の運びとなりました。各部門の講評も掲載しておりますので、ぜひ作品をご覧いただき、今後の創作活動の参考としていただければ幸いです。

只見町は、平成二六年六月にユネスコエコパークに認定され、町の豊かな自然環境をより所とした人々の暮らしや文化が、世界的に認められる場となりました。さらに令和四年七月には「ただみ・モノとくらしミュージアム」が開館し、そこには国の重要有形民俗文化財に指定された只見町の民具二、三三三点が収蔵、展示されており、これらは私たちの町が誇る知と文化の豊かさを象徴するものです。

今回ご応募いただいた作品の多くには、只見の自然や文化への愛情が溢れており、皆様の心に深く根付いた町への思いが感じられます。作品の一つひとつが、持続可能な町づくりへの思いを紡ぎ、次世代へとつなぐ希望の光となっています。

結びに、本コンクールにご参加いただいた皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、開催にあたり多大なるご協力をいたいたいた関係機関・団体の皆様、そして審査員の皆様に心より御礼申し上げます。このコンクールが今後も町民の皆様のご協力のもと、只見町の文化のさらなる振興と発展に寄与することを願い、お礼の挨拶とさせていただきます。

令和八年一月

只見町教育長 渡 部 公 三

目

次

作文部門

【小学生下学年の部】

特選 該当なし

入選 リニアの見学に行つて……明和小学校二年 角田 智仁
佳作 こうみんかんのおまつりにいったよ

……明和小学校一年 山内 杜生

1



【中学生の部】

特選 該当なし
入選 該当なし
佳作 該当なし

入選 思い出のいろいろ端……只見 鈴木 澄子
佳作 立て札……黒谷 目黒 富子

7 6

【一般の部】

特選 該当なし

講評 ……伊藤 俊晴
入選 ささがしま……朝日小学校一年 吉津 亘晴
佳作 どうぶつえん……朝日小学校一年 酒井 一心
該当なし

7

詩部門

【小学生下学年の部】

特選 該当なし
入選 どうぶつえん……朝日小学校一年 吉津 亘晴
入選 ささがしま……朝日小学校一年 酒井 一心
佳作 該当なし



短歌部門

【小学生下学年の部】

特選	明和小学校四年	角田	杏子	大倉	齋藤由美子
入選	朝日小学校三年	渡部		只見	菅家ミヨ子
入選	朝日小学校二年	吉津		綾世	佳純
佳作	該当なし				

【小学生上學年の部】

特選	明和小学校四年	角田	杏子	大倉	齋藤由美子
入選	朝日小学校六年	鈴木	遙真	只見	菅家ミヨ子
入選	朝日小学校六年	吉津	光祥	綾世	佳純
佳作	朝日小学校六年	岩佐	朱乃		
佳作	朝日小学校六年	本名	美里		

【中学生の部】

特選	只見中学校二年	矢沢	茜音	大倉	齋藤由美子
入選	只見中学校二年	酒井	乃愛	只見	菅家ミヨ子
入選	只見中学校二年	五十嵐寛眞		綾世	佳純
佳作	只見中学校二年				
佳作	只見中学校二年				

【小学生下学年の部】

特選	明和小学校三年	矢沢	奏穂	大倉	齋藤由美子
入選	只見小学校二年	三瓶	悠里	只見	菅家ミヨ子
入選	明和小学校二年	角田	智仁	綾世	佳純
佳作	朝日小学校三年	五十嵐夏生			
佳作	只見小学校三年	角田	智仁		
佳作	五十嵐夏生	目黒	百笑		

俳句部門

【小学生下学年の部】

特選	明和小学校六年	馬場	由貴	大倉	齋藤由美子
入選	只見小学校五年	鈴木	楓真	只見	菅家ミヨ子
入選	朝日小学校五年	木津	美心羽	綾世	佳純
佳作	只見小学校六年	渡部	結羽		
佳作	明和小学校四年	角田	杏子		



【一般の部】

特選	大倉	齋藤由美子
入選	只見	菅家ミヨ子
佳作	綾世	佳純
講評	鈴木恵美子	12
		12

【中学生の部】

特選	該當なし							
入選							只見中学校三年	渡部 悠希
佳作							只見中学校三年	三瓶 煌羽
佳作							只見中学校三年	菊地 華恋

【高校生の部】

特選							只見高等学校二年	五十嵐創生
入選							只見高等学校三年	八須賀真優
入選							只見高等学校三年	吉津 就
佳作							只見高等学校三年	角田 智希
佳作							只見高等学校三年	梁取 歩

【一般の部】

特選	該當なし							
入選							館ノ川	遠藤菜緒子
佳作							大倉	齋藤由美子

18 18 18

17 17 17 17 17

16 16 16



作文
部門

作文部門

【小学生下学年の部】

特選

該当なし

入選

リニアの見学に行って



明和小学校二年 角田智仁

夏休みの七月二十五日、ぼくは家ぞく五人で山なし県にある、「リニア見学センター」に行つてきました。毎日はやつてない、リニア走行しけんよていの日に行けたので、走つているところを間近で見ることが出来て本とうによかつたです。

そのときにおどろいたことが二つあります。

一つ目は、ちょうどどうリニアは、時そく五百キロで走るということです。しけん走行中のリニアが、見学センターのよこを

「えつ、やばつ。」
とおどろきました。リニアがトンネルから出てくる前も、ゴーというすごい音が聞こえて、ぼくが立つているゆかも少しゆれました。姉とおとうともリニアを見てびっくりしていました。ぼくがのつたことのあるはやぶさもはやいと思つていましたが、もつともつとはやくてかつこうよかつたです。

二つ目は、ちようでんどうじ石で、うかせて走らせていることです。ぼくには少しむずかしいけれど、でん気とじ石の力によつて十センチもういて走るみたいです。ぼくは、じ石でういてじ石で走行するミニリニアにのる体けんをしてきました。おかあさんが「これは三センチ分もうくみたいだね。」

と言つているのを聞いたけれど、ゆらゆらしているわけでもなく、ういてるかんじが分かりませんでした。

ぼくは、今回の見学をして、ちようでんどうリニアがかつこうよくて大すきになりました。とてもはやいスピードで走るところとでんどうじ石でういて走るところが、大すきです。ぼくのすむ只見町にもきてほしいです。そして、いつかちようでんどうリニアにのつて、ちがう県に行きたいです。

佳作

「うみんかんのおまつり」につたよ

明和小学校一年 山内杜生

なつやすみに、こうみんかんでおまつりがありました。ぼくは、おかあさんとおまつりにいきました。かいじょうには、きらきらひかるおもちゃやおいしいおつゆがうつっていました。やぐらのうえでは、おとこのひとがたいこをたたいていました。

ぼくは、おかあさんといっしょにおいしいおつゆをかいました。なかには、ぐがはいつていておいしかったです。

ぼくは、しゃてきもしました。さいしょはなかなかあたりませんでした。さんかいしつぱいしたけどよんかいめにあたつてうれしかつたです。うまいぼうがあたりました。さくらぐみのこうだいくんがきました。だから、いっしょにたべました。こうだいくんとは、ほいくしょのときには、けんかすることもありました。でも、このひはなかよくいっしょにいることができました。おまつりのひで、うれしいきぶんだったので、けんかはしませんでした。ぼくはいやなきぶんになると、いろいろして、ともだちとけんかをしてしまったことがあります。いらっしゃるように、ともだち

にいいかえしたりたたりしたりしないようにしたいです。いいかえしたり、たたりたりすると、おこるきもちがとまらなくなってしまいます。けんかしないように、おまつりのときのように、うれしいきもちをもちたいです。



作文部門 講評

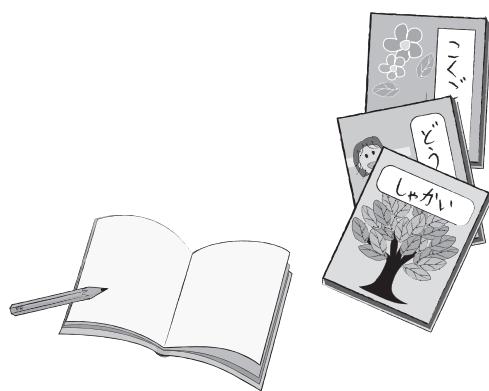
岩 泊 未加子

(総評)

昨年度と比較すると、応募数が大幅に減少している。デジタルの利活用が一層推進される中でも、感情・思考を整理するには実際に筆記することが最も有効である。生涯に亘って紙面上に文字を連ねることを億劫に感じることがないように、機会を捉えて作文指導を継続してほしい。

(下学年)

下学年らしい身近な題材・経験を、時系列に沿つてきちんと説明できていた。題と内容がずれている作品が見られたので、書きたい内容を整理してから筆記に臨むと良いと考える。



詩
部
門

詩 部 門

【小学生下学年の部】



該当なし

入選

どうぶつえん

朝日小学校一年 吉津亘晴

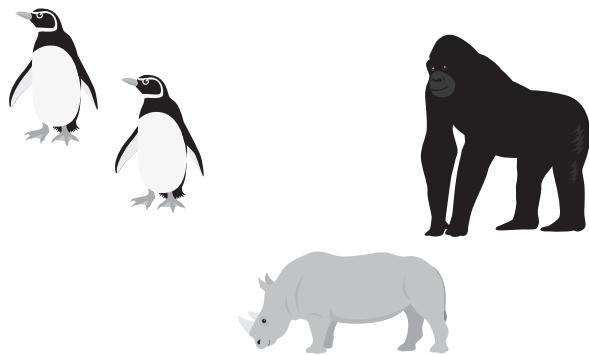
さいがのつそのつそ
いつたりきたりしていた

ぺんぎんが
みずとびこんで
ばしゃんばしゃんと
おとがした

なにをやっているのかな

ごりらがへやで
があがあねていて
かわいかつた

どうぶつはたのしそう



入選



さどがしま

朝日小学校一年

酒井一心



さどがしまの

うみのみずがきれいだつた
みずいろできれいだつた

じやあとおとがした
ゆうやけがきれいだつた

おれんじいろできれいだつた
ゆうらんせんにのつた

かあかあないでいる
しろいとりに

えさをあげた

さどがしまのうみがだいすき

佳作

該当なし

【小学生上等年の部】

特選

該当なし

特選

明和小学校六年 酒井詩文

私の好きな只見

学校のブランコ、教室、
坂田の清水場、布沢の神社
あくいーる ルーチエ
インフォメーションセンターのソファ
滝神社の前の用水

もしそこが、なくなつたら、どうしよう。
楽しむ場所がなくなつて、つまらなくなる
涼しいところがなくなると、暑くて、イライラしてしまう。

私の好きな只見を
色々な人に、伝えたい。

友達にも、教えたい。

思い出のじりじり端

只見 鈴木 澄子

私の好きな只見が、
このままつづけばいいな。

雪の降る日のいろり火は
静かに暖かく燃えている

佳作

該当なし

【中学生の部】

佳人特選

該当なし

該当なし

該当なし

【一般の部】

特選

該当なし

爺は またたびのザルを編み
婆は 麻の緒を績んで
お父は げんべに草履とワラ仕事
お母は 繕いものの針仕事
子めらは ワッサ真似して遊んでる
そしてしゃべって
笑つてお茶飲んで
いろいろ端は家族の
心と暮らしの寄りどころ

思い起こせば
八十年余の時が流れて
賑やかだつたりおり端は
遙か彼方の思い出の中

雪は今日も静かに降つてゐる

立て札

黒谷目黒富子

曾孫と球根を植えた
覚えたての文字で
花の名の立て札をたててくれた
字は踊つてる様な

笑つてるような

孫の笑顔そのものだ
宝物だ



詩部門 講評

会津詩人協会会長

伊藤俊晴

「現代詩」は私達の普段の生活の中では、あまり目に触れないのかもしれません。それでも、たとえば小学校、中学校、高校にはそれぞれ、「校歌」があり、歌詞が額に入れて掲げてあると思います。現在の多くの「現代詩」は、読点や句読点を入れず、一つのイメージをかたまり（一連）として、連をつないで行く書き方が多いようです。一つの大きなイメージを小さなかたまりとして、たとえば起承転結のような形に整えていくのです。話の伝言ゲームのようなイメージで、一つのテーマを掘りさげていくのです。一つのことに集中して行き、やがてどのように終わるかを考えるのです。皆さんのがテレビや映画の終わり方に感動するように、読んでくれた人に感動を伝えることができたら、すばらしいことです。現代詩もよい作品は多くの人達に、大きな感動を伝えることができます。

優れた良い作品を多く読んで、感動を味わい、次は自分で一つのテーマを決めて、テーマについての情報、知識、考えを集めて、一連づつに言葉のかたまりを作つていき、全体の形を整えていくのです。サー練習しましょう。誰でもすぐには書けません。

●評価●

【小学校下学年】

特選 該当なし

入選 「どうぶつえん」
「さどがしま」

佳作 該当なし

【小学校上学年】

特選 該当なし

入選 「私の好きな只見」

佳作 該当なし

【中学生】

特選 該当なし

入選 該当なし

佳作 該当なし

【高校生】

応募作品なし

「私の好きな只見」＝故郷は遠くに居て思い出すものばかりではありません。故郷に居ながら、長い時間を思い出す故郷もあります。人生の節目節目に立ち会った故郷は永遠に在り続けます。故郷を愛せるとは何とすばらしいことでしょう。

●作品講評●

今回の文芸コンクール「詩部門」において少し残念だったのは、「中学生の部」の作品が、いずれも二～三行の短詩で、完結していないかったことです。小学校上学年の応募が一作品のみであったこと。高校生の応募がなかったことが残念でした。

「どうぶつえん」＝本物の「ぺんぎん」や「さい」や「ごりら」を見ることができたことは、すごいですね。ぺんぎんが水に飛び込む動き、さいのゆっくり歩く動きをよく見ていました。ごりらが寝ていたのは残念でしたね。よく観察できていると思います。

「さどがしま」＝佐渡ヶ島へ行つてきたのですね。遊覧船から見た海の様子、船の音、夕焼けに染まる海の景色は感動的でしたね。船からかもめにえさをやる経験も初めてでしょうね。初めての体験談をていねいに思い出しています。

「思い出のいろり端」＝二〇二五（令和七年）は昭和百年（戦

後八十年）とも言われ、昭和の時代がなつかしい年として思い出されました。作品には戦後の三種家電（テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫）の話はありませんので、時代は戦前なのでしょうか。八十余年の時を思い起しているのです。作者の思い出す心は平和でも、外の世界は戦争へ向っていたのかもしれません。家族が一緒にいられることは有難いことです。

「立て札」＝花の球根ですとチューリップ、グラジオラス、スイセン、ユリ、ダリアなどを思いうかべます。庭に植えるとすればチューリップやグラジオラスなのかもしれません。曾孫（ひまご）はカタカナが書けるとすれば九～十歳位か。花の名の立て札を立ててくれるとすると、男児なのかもしれない。女児でもよい。カタカナの字が孫（自分の子ども、曾孫の父親）の笑顔に似ているという。穏やかで、平和な家族がすべて作者の宝物なのだ。



短歌部門

短歌部門

【小学生下学年の部】

特選

朝日小学校三年 渡部佳純

夏休み日に日にやけるわたしのはだ体も心もひとかわむけた

入選

朝日小学校二年 吉津綾世

夏休み毎ばんパパと虫さがしよになるのがまちどおしいな

佳作

該当なし

【小学生上学年の部】

特選

明和小学校四年 角田杏子

富士山に初めて出会う夏休みテレビとちがうその雄大さ

入選

朝日小学校六年 鈴木遙真

たのしみは弟たちの成長を家に帰つて感じられる時

朝日小学校六年 吉津光祥

たのしみは学年行事でサンショウウオ只見ハコネとしあわせなどき



佳作

朝日小学校六年 岩佐朱乃

たのしみはコテージへやでともだちとまくらでしようぶなげまくるとき

朝日小学校六年 本名美里

汗だくで白球追いかけ一年半最後にかける熱き戦い

【中学生の部】



特選

只見中学校二年 矢沢茜音

得意技一本とれば帰り道重い防具も風船のよう



佳作

只見中学校二年 長谷部七歌

あおぞらにひつじが浮かぶ四時間目ぬれた髪にはえんその匂い

只見中学校二年 梁取孝太郎

真夜中の涼しさについ口づさむ心に響くジブリの主題歌



入選

只見中学校二年 酒井乃愛

「ただいま」と言つた矢先にいいにおい今日の夕飯何ですか

只見中学校二年 梁 取 豆

短歌部門 講評

鈴木 恵美子

夏の夜明日にそなえて皆眠り私は一人机にむかう
只見の庭マツバボタンがなつかしい飛んで来たのか我が家の庭へ

【一般の部】

特選 該当なし

入選

大倉 齋 藤 由美子

釣竿に赤き蜻蛉あきつのとまりたり今暮れんとす里の夕空

特選 夏休み日に日にやけるわたしのはだ体も心もひとかわむけた
夏休みにたくさん思い出を作った事をそれぞれ短歌にしてくれました。太陽の光をいっぱい浴びてたくましくなった体と心。ひとかわむけたがいいですね。

入選 夏休み毎ばんパパと虫さがしよるになるのがまちどおしいな
パパと毎ばん虫さがし楽しかった事でしょう。どんな虫が見つかったのかな?ワクワクドキドキの世界、夜がまちどおいしい気持ちが良く出ています。

もう一つの作品はお手伝いをした事がよく伝わってくる作品でした。二句が字余りが多くてリズムが良くなくてそれませんでした。残念です。作ったら声に出して読んでみましょう。

【小学生上學年の部】

特選 富士山に初めて出会う夏休みテレビとちがうその雄大さ

夏休みに実際に目で見た富士山の雄大さに思わず息をのんだ作

佳作

只見菅家ミヨ子

只見の庭マツバボタンがなつかしい飛んで来たのか我が家の庭へ

者。テレビと違うスケールの大きさを感じた事をそのまま短歌にしてくれました。

入選　たのしみは弟たちの成長を家に帰つて感じられる時

いつも弟達の面倒をみてくれるお兄ちゃん、お姉さんでしょ

か。ふとした事で弟達の成長を感じ喜んでいる。まるで保護者の

ような関係で大切に思つてするのがよくわかる作品です。

入選　たのしみは学年行事でサンショウウオ只見ハコネとしあわ

せなとき

只見ハコネサンショウウオはかわいかつたですか？自然環境の

豊かな只見だから生きてゆける珍しくて大事にしたい生き物です。

みんなで守つてゆけたらいですね。

佳作　たのしみはコテージへやでともだちとまくらでしようぶな

げまくるとき

只見ハコネサンショウウオはかわいかつたですか？自然環境の

豊かな只見だから生きてゆける珍しくて大事にしたい生き物です。

みんなで守つてゆけたらいですね。

佳作　たのしみはコテージへやでともだちとまくらでしようぶな

げまくるとき

只見ハコネサンショウウオはかわいかつたですか？自然環境の

豊かな只見だから生きてゆける珍しくて大事にしたい生き物です。

みんなで守つてゆけたらいですね。

佳作　夏の夜明日にそなえて皆眠り私は一人机にむかう

明日は大切な試験があるのであるのだろうか。一人机にむかってがんばつてゐる作者の姿が目に浮かぶようです。一生けん命さが伝わつてくる作品です。きっといい結果になつた事でしょう。

【中学生の部】

特選　得意技一本とれば帰り道重い防具も風船のよう

重い防具なのでもしかしたら剣道でしょうか？得意技で一本勝ちした喜びでそれも風船のように軽くなつた体験を短歌にしてくれました。

入選　「ただいま」と言つた矢先にいいにおい今日の夕飯何ですか

腹ペこの体にとびこんで来たいにおいは作者の大好物だった

のかもしません。五感の中の嗅覚をいかした作品。

入選　汗だくで白球追いかけ一年半最後にかける熱き戦い

追いかけた白球は何だつたのでしょうか。一年半の汗と努力の結果がためされる最後の試合に自分をふるいたたせるいい短歌です。

佳作　あおぞらにひつじが浮かぶ四時間目ぬれた髪にはえんその匂い

青空に浮かんだのは羊雲かな。ぬれた髪の塩素の匂いはブール

に入った後の事かなと読者に想像させる所がステキです。

佳作　真夜中の涼しさについ口づさむ心に響くジブリの主題歌

何げない事を生活の中からすくいあげた所が良いです。ジブリの主題歌は色々あるのではつきりと題名を書くともつといいですね。

佳作　夏の夜明日にそなえて皆眠り私は一人机にむかう

【一般の部】

入選 鈎竿に赤き蜻蛉あきつのとまりたり今暮れんとす里の夕空

山里の夕暮れの美しい情景が浮かんできます。まるでわらべ唄にでも出てくるような日本の原風景です、四句、五句を倒置してもいいですね。鈎竿、蜻蛉、里の夕空。歌材のとり合わせがいきている。

佳作 実家の庭マツバボタンがなつかしい飛んで来たのか我が家

の庭へ

「実家の庭」の次にのがあると分かりやすいでしょう。作者はマツバボタンの花がとても懐かしかったのですね。夏の暑さにも負けないその花に元気をもらつたのでしょうか。

字足らずと助詞の使い方に気をつけましょう。それでとれなかつた作品がありました。内容がいいのに残念な事でした。



俳句部門

俳句部門

【小学生下学年の部】

特選

明和小学校三年 矢沢奏穂

じいちゃんのあまくておいしい夏やさい

入選

只見小学校二年 三瓶悠里

顔つけておよいだプール楽しいな

明和小学校二年 角田智仁

ひまわりが風にふかれておどつたよ

佳作

朝日小学校三年 五十嵐夏生

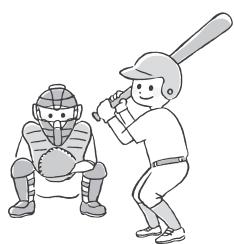
昼休み虫も日かげで一休み

只見小学校三年 目黒百笑

ひがん花日の丸のような赤いろだ

【小学生上学年の部】

特選



明和小学校六年 馬場由貴

応援で声が枯れたよ盆野球



入選

只見小学校五年 鈴木楓真

秋風でゆれるススキの美しさ

朝日小学校五年 木津美心羽

あじさいのしづくがキラリ梅雨の終わり



佳作

只見小学校六年 渡部結羽

かぼちゃでランタン作り楽しいな

明和小学校四年 角田杏子

水辺だとかがやき二倍螢かな

【中学生の部】



特選

該当なし



入選

只見中学校三年 渡部悠希

真夏の日スタンド響く大歓声



佳作

只見中学校三年 三瓶煌羽

夏風でこつちに手を振る山の木々

只見中学校三年 菊地華恋

夕焼けに心奪われる帰り道

【高校生の部】

特選

只見高等学校二年

五十嵐 創生

土まみれスパイク干して秋日和

只見高等学校三年 角田智希

只見高等学校二年 梁取歩

夕焼けを背に受けて走る只見線

自転車の影並びゆく秋の道

佳作

入選

只見高等学校三年

八須賀 真優

書初に一筆入魂合格と

只見高等学校三年

吉津就

墓参り消えゆく煙に思い馳せ



【一般の部】

特選

該当なし

入選

館ノ川

遠

藤

夏野菜
菜緒子

のら仕事あおぐ鳥影終戦日とりかげ

佳作

大倉

齋

藤

由美子

鬼灯や子の左手に右手にも

俳句部門 講評

福島県俳句連盟参与

桜井たかを

【小学生下学年の部】

特選句は「夏野菜」の句、じいちゃんがせつせと作ってくれる夏野菜は世界一おいしい。感謝の気持ちも伝わる。仕事をしているようすも見ているのでしょう。たまには手伝つたりして。

入選句の一つは、「プール」の句、水泳で初めて顔を付けて泳げたうれしさを句いっぱいにあらわしている。やつとできたうれしさは特別だったと思います。

もう一つは「ひまわりの」の句、大きい頭のひまわりが風にゆれて、まるでおどつてているようだという。そんなふうに感じて、表現できるのがよい。

佳作は「一休み」の句。まだまだ暑くて人は一休みしている。虫も一休みしているという。「も」がよい。きっと夜はいい声で鳴いていたことでしょう。

二つめは、「ひがん花」の句。よく見ていて、ひがん花の色が国旗の日の丸の赤のようだという。気づき、たとえが良い。

【小学生上学年の部】

特選句は、「盆野球」の句。お盆の野球大会で選手と一緒になつて、「声が枯れた」ほど応援に熱が入った様子が伝わる。単に応援しただけでなく、声が枯れたほど応援したというところがよい。

入選は、ススキとあじさいの美しさを表す二句。

雨が止んだ後、「あじさい」のしづくがキラリと光っていたという。あじさいは雨上がりが一番きれいだ。まして梅雨が終わりだと思うと、なおさらにきれいと感じたにちがいない。

(「あじさい」も「梅雨の終わり」も夏の季語。)

ススキに穂が出ると次々色が変わり、秋風に吹かれたりすればとてもきれいに見える。(「秋風」と「ススキ」は秋の季語)

佳作は、「ランタン作りの」の句。ハロウインでかぼちゃのランタン作りをして、とても楽しかったという。「楽しいな」はないで、ランタン作りの様子を書くとなおけしきが広がる。もう一つは、「蛺の」句。蛺は水辺が合う。上下両方で見られるなんてなんとぜいたく。輝きも二倍、感動も二倍だったという。「かな」の使い方は大人っぽい。

【中学生の部】

入選句の「真夏」の句は、小学生上学年特選句と同じ大会かな。それとも中学校の大会だったのかな。スタンディングいっぱいに響く大

歓声は暑かつた。真夏だからなおさら熱く燃えたと思います。

佳作は、「夏風」の句。夏の風に吹かれ木々が揺れている。自分の方に向かって手を振っているようだという感じ方が良い。

もう一つは「夕焼け」の句。特に夏の夕焼けは燃えるような景色になります。「心奪われる」ほどすごい夕焼けが見られたんだろうと想像しています。

【高校生の部】

特選句の「スパイク」は、野球のスパイクかな。自分と一体になつて頑張ってくれたスパイクを、今ていねいに洗つて干している気持ちは秋日和にふさわしいと思います。季語とのつながりがよい。

入選は、「書初め」の句。年の初めに、今年一年の思いを「一筆入魂」の強い思いを込めて、「合格」を願つて書初めした姿が思い浮かびます。心の穏やかさを表しています。

もう一つは、「墓参り」の句。手向けた線香の火が消えるまで、ゆっくりと故人に思いを馳せながら墓参りしている様子が良く見える。

佳作は「夕焼け」の句で、夏の大夕焼けを背中一杯に受けて走つていく只見線の列車は何と素晴らしいことか。一枚の写真そのものである。「て」はいらぬい。

もう一つは、「自転車」の句。下校時の様子か。自転車に乗つ

て大声で話し合いながらの「長い影並び行く」がよい。長い影が伸びているのだから時間も分かる。

来年は五十回目の文芸コンクール記念の年、ふさわしいたくさんの作品が寄せられることを願つてやまない。

【一般の部】

入選句は、「終戦日」の句。野良仕事をしてたら、頭上にB29が飛来したかと思わせる鳥影が見られた。くしくも今日は八月十五日。そんな思いをした一日だった。平和がありがたい。

佳作は「鬼灯」の句。真っ赤な鬼灯を両手に持つて駆けて来る子の姿が目に浮かぶ。今ごろは鬼灯を鳴らす子はいないでしょうね。

●総評●

今年も秀句が多く実り多い文芸コンクールとなつた。児童、生徒の頑張りもあつたが、指導、とりまとめに当たられた先生方のおかげでもある。「季語」なしはほとんどなく、表現の仕方が行き届いていた感じがする。

全体的には傾向として発想が良く、表現豊かな作品が多かつた。

反面、学年が進むにつれ、特に高校生は難しい言葉、借り物の表現が多くなり、生き生きとした情景が伝えられなかつた作品も少なからず見られた。見たまま、感じたままを素直に表現することの大切さを知つてほしい。



第49回 只見町民文芸コンクール応募作品点数

部 門		応募点数	入賞点数	入賞内訳		
				特 選	入 選	佳 作
作 文	小学生下学年	2	2	0	1	1
	小学生上學年	0	0	0	0	0
	中 学 生	0	0	0	0	0
	計	2	2	0	1	1
詩	小学生下学年	18	2	0	2	0
	小学生上學年	1	1	0	1	0
	中 学 生	12	0	0	0	0
	高 校 生	0	0	0	0	0
	一 般	2	2	0	1	1
	計	33	5	0	4	1
短 歌	小学生下学年	3	2	1	1	0
	小学生上學年	15	5	1	2	2
	中 学 生	24	6	1	2	3
	高 校 生	0	0	0	0	0
	一 般	5	2	0	1	1
	計	47	15	3	6	6
俳 句	小学生下学年	30	5	1	2	2
	小学生上學年	35	5	1	2	2
	中 学 生	16	3	0	1	2
	高 校 生	67	5	1	2	2
	一 般	4	2	0	1	1
	計	152	20	3	8	9
合 計		234	42	6	19	17

第49回 只見町民文芸コンクール審査員名簿

部 門	氏 名	所 属 職 名 等
詩	伊 藤 俊 晴	福島県現代詩人会会員 会津詩人協会会長
短 歌	鈴 木 恵美子	福島県歌人会常任委員 平成26年度文学賞正賞受賞 令和5年度県歌集賞奨励賞受賞 民友新聞選者
俳 句	桜 井 たかを	福島県俳句連盟参与 美里ペンクラブ顧問 一箕小学校講師
作 文	岩 渕 未加子	県立只見高等学校 国語科教員(作文の部審査員長)
作 文	田 中 ケイ子	元小学校教員
作 文	吉 津 和 子	元小学校教員

◎事務局 只見町教育委員会 文化スポーツ係

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591-30

TEL 0241-82-5320 / FAX 0241-82-2337